



# 社協だより

# 104

2019.7.19発行

## 住みたいまち大刀洗 住んでよかった大刀洗町



### 今号の主な内容

- H30年度事業報告(抜粋)・収支決算総括表
- H30年度地域福祉講座報告(つづき)
- 「地域共生社会」の実現に向けて、私たち(地域・住民)に求められること③
- 笑顔キラキラ☆保育園だより
- 福祉協力員研修会報告
- お知らせ・ご案内
- ・ 老人クラブ主催健康講演会
- ・ ボランティア入門講座ほか



### 6/6 男性の料理教室

旬の野菜をたっぷり使った男のカレーはとってもスパイシーで大盛です！

**一緒にお料理しませんか？ 教室生追加募集中！** 詳しくは社会福祉協議会まで。

### ■ 社会福祉法人 大刀洗町社会福祉協議会

〒830-1201 大刀洗町大字富多819  
TEL/0942-77-4877 Fax/0942-77-6220

### ■ 大堰保育園

〒830-1205  
大刀洗町大字守部465-5  
TEL/0942-77-1402

### ■ 本郷保育園

〒830-1211  
大刀洗町大字本郷899-1  
TEL/0942-77-2220

URL <http://www.tachi-shakyo.or.jp>

熱中症に注意！  
こまめな水分補給を！



この社協だよりは、共同募金の配分金より発行しています。

# 平成30年度 大刀洗町社会福祉協議会事業報告

## 1. 事業全体に対する総括

平成30年度は、小地域協議会の機能強化と総合相談窓口の設置を目指し、正規職員として地域福祉コーディネーターを採用し、事務局体制を整備することができました。

町から受託している『地域共生社会の実現に向けた包括的支援体制構築事業』と『生活支援体制整備事業』を中心に、『高齢者』『障がい者』にとらわれず、地域における複合的課題や生活課題の解決に向けた体制強化のために『小地域協議会』への支援と、町や地域包括支援センター、町内社会福祉法人や専門機関との関係構築に重きを置き、事業を進めてまいりました。

今後とも社会状況は目まぐるしく変化し、個人や世帯の抱える困りごとや課題も個別化し、制度では対応できないケースも増えてきます。社会福祉協議会として、地域の理解と協力を得ながら、今後とも地域福祉の推進に取り組んでまいります。

## 2. 重点目標

### (1) 地域共生社会の実現を目指した地域力強化の推進

各行政区単位での小地域協議会については、要援護者の見守り及び情報交換という形が定着し、社協を含め地域包括支援センターや福祉施設職員も参加することによ

り、より幅広い情報交換ができる地域が増えてきております。

また、7月より『せいかつ☆ふくし相談窓口』を開設したことにより、役場各課や地域包括支援センター、保健福祉環境事務所などとの関係が構築され、それにより制度の狭間にある課題（生活困窮等）の相談が増えてきています。

今後とも寄せられる相談や課題に対して、解決に向けて支援していくためにも、小地域協議会における見守り活動の強化と福祉意識の醸成を目的とした福祉教育の推進を進めるとともに、地域と関係機関・専門機関が連携した体制を構築できるよう事業を進めていきます。

### (2) 生活支援体制整備事業

平成29年度から町の受託を受け、住民主体の協議の場である「第一層協議体」の運営及び開催と地域に向けた周知活動を継続してまいります。平成30年度は、校区別に声を聴く場が必要との意見を受け、『地域が、つながる』情報交換会を小学校区単位で開催し、今後地域に合った活動を進めるためのきっかけになりました。

また、地域介護予防活動（通いの場）支援事業費補助金交付（モデル事業）を実施し、町内で5行政区が週1回程度の、誰もが参加できる『居場所』を実施することとなりました。今後は町の介護予防事業の一環として進められます。これからも、地域の声を反映させつつ、地域における主体的な活

動を進めることができよう、事業を進めていきます。

### (3) 社会福祉法人としての連携強化

社会福祉法人の公益的な取り組みの強化を目指し、町内社会福祉法人の組織化と「ふくおかライフレスキュー事業」実施に向けた体制づくりを進めました。

社会福祉法人の組織化については、地域貢献活動や制度に当てはまらない福祉課題の解決に向けた個別支援体制を整えるための情報交換会を実施し、顔の見える関係構築を目指しました。

また、「ふくおかライフレスキュー事業」については、県社協より事業内容や県内の取り組み状況を提供していただいたうえで、法人ごとの意見を反映しながら町内での支援体制を検討しました。

今後は、各法人が持つ専門知識とノウハウを生かした体制を構築していきたいと考えています。

## 事業報告

### 法人運営部門

#### (1) 社会福祉協議会の運営

- 理事会・評議員会の開催、評議員選任・解任委員会の開催
- 苦情解決体制の整備、事業活動・サービス内容等の評価
- 西日本豪雨に対する被災地（災害ボランティアセンター）支援

### 地域福祉活動推進部門

#### (2) 住民主体の地域福祉活動の推進（地域力強化推進事業）

- 要援護者見守りネットワーク事業
- 要援護者見守りネットワーク協議会幹事会・全体会の開催

- ・要援護者見守りネットワーク協議会小地域協議会の推進強化
- ・救急医療情報キット「いのちのバトン」事業の実施
- ミニデイサービス事業の育成と支援
- 延べ実施回数：236回
- 延べ利用者数：3,486名
- 延べボランティア数：2,880名
- 合計：6,346名

- 地域福祉講座の開催
- ・地域がつながる情報交換会報告講演「地域共生社会の実現に向けて私たち（地域・住民）に求められること
- ～地域で共に生きていく社会とは？～
- 講師：ローカリズム・ラボ 代表 井岡仁志氏

#### (3) 高齢者福祉の推進事業

- 福祉バス運行事業
- 男性の料理教室への支援
- 老人クラブの育成と支援
- 折り紙サロンの実施
- 健康マージャンサークルの支援
- 初心者向け健康マージャン教室の開催

- 地域包括ケアシステムの構築（健康福祉課・包括と協働）
- 凸凹の会（点訳の会）
- 身体障害者福祉会への支援
- 視覚障害者へ朗読ボランティアによる「声の広報」録音テープ配布

#### (5) 子育て支援の推進

- 子ども見守り隊への支援
- 母子・寡婦・父子福祉の推進
- 母子寡婦福祉会の援助

- ボランティア活動の推進
- ボランティアセンターの運営
- ボランティア連絡協議会との連携
- ボランティア団体の育成・活動支援
- ボランティア入門・養成講座の開催
- ・ボランティア入門講座  
「笑顔いっぱい生きまっしょい！楽しく生きる秘訣をお教えします」
- 講師：NPO法人福岡レクリエーション協会  
専務理事 佐藤 靖典 氏
- ・初心者向け朗読ボランティア講座  
講師：NHK福岡放送局  
アナウンサー 原田 徹 氏
- ・地域活動サポーター養成講座
- ボランティア情報誌「ちよぼり」の発行 年3回
- 福祉教育の推進
- 福祉協力校事業
- 小・中学校の福祉教育への協力と支援
- 保育園の福祉事業への援助
- 共同募金・歳末たすけあい運動への協力
- (10)当事者組織への支援
- とまり木の会(家族介護者の会)への支援
- 語ろう会(障害者当事者及び家族の会)への支援
- ほけっと(障害児・者親の会)への支援
- 精神障がい者家族会への支援
- 子と親・花花の会への支援
- (11)広報と啓発活動
- 社協だよりの発行 計6回
- ホームページの作成・運営

- (12)地域福祉計画・地域福祉活動計画の推進
- 相談援助部門
- (13)各種相談事業
- 心配ごと相談事業
- 無料弁護士相談
- (14)日常生活自立支援事業(地域福祉権利擁護事業)
- (15)生活福祉資金貸付事業
- (16)臨時食料品等給付事業(フードバンク)
- 在宅福祉サービス部門
- (17)居宅介護支援事業
- 身体障害者・知的障害者・児童へのホームヘルプ事業(障害者自立支援)
- 生活管理指導員派遣事業
- 福祉有償運送事業
- (18)一般相談支援事業
- (19)特定相談支援事業
- (20)障害児相談支援事業
- 基本相談支援及び計画相談支援(サービス等利用計画の作成)
- 児童福祉施設運営部門
- (21)保育園運営事業
- 大堰・本郷保育園の運営
- (22)病後児保育事業
- 受託事業部門
- (23)障がい者相談支援事業
- 障がい児・者、引きこもりの方等の相談支援(就労支援、生活支援)
- 事業所等関係機関との連携、ケース会議等への参加と支援
- (24)生活支援体制整備事業
- 生活支援コーディネーターの配置

・第1層協議体「陽だまり」TOUCH A LIFE」の開催(6回)

・校区別勉強会「地域がつながる」情報交換会」の開催(4校区)

○総合相談窓口「せいかつ☆ふくし相談窓口」の設置

○役場関係機関、専門機関との連携体制の構築

(25)地域力強化推進事業

平成30年度 大刀洗町社会福祉協議会

# 収支決算総括表

(単位：円)

会計名	拠点区分	サービス区分名	期首金額 (前年度繰越金)	収入済額	支出済額	繰越金
一般会計	本部	1. 法人運営	992,680	32,933,157	33,127,451	798,386
		2. 地域力強化推進事業	3,104	8,002,465	8,002,465	3,104
		3. ミニデイ事業	75,143	2,493,000	2,568,143	0
		4. 共同募金配分金事業	214,790	4,235,660	4,219,280	231,170
		5. 生活管理指導員派遣事業	496,537	0	0	496,537
		6. 基準該当居宅支援事業	414,887	777,378	609,298	582,967
		7. ボランティアセンター事業	128,976	2,816,000	2,757,096	187,880
		8. 生活福祉資金貸付事業	1,160	213,364	213,364	1,160
		9. 心配ごと相談事業	52,830	340,000	327,262	65,568
		10. 福祉バス運行事業	353,904	3,791,500	4,081,596	63,808
		11. 福祉有償運送事業	260,934	183,440	204,648	239,726
		12. 病後児保育事業	0	4,263,500	4,263,500	0
		13. 障害者相談支援事業	2,750,870	6,006,726	8,757,596	0
		14. 生活支援コーディネーター事業	0	3,106,000	3,106,000	0
		小計	5,745,815	69,162,190	72,237,699	2,670,306
	大堰保育園	1. 大堰保育園	13,255,239	136,112,911	136,910,678	12,457,472
	本郷保育園	1. 本郷保育園	16,786,093	251,659,131	241,643,455	26,801,769
	合計	35,787,147	456,934,232	450,791,832	41,929,547	

# 「地域共生社会」の実現に向けて、 私たち(地域・住民)に求められること③

講師：ローカリズム・ラボ 代表 井岡 仁志 先生  
日時：平成31年3月9日(土) 参加者：93名

前回に引き続き、『地域共生社会』をテーマに開催した地域福祉講座より、ローカリズム・ラボの井岡仁志先生の講演内容をご紹介します。






## みんなが参加する、 住民福祉活動の「いろは」

身近な住民の支えあいの活動として、町内会自治会の範囲での基礎的な取り組みとして、住民福祉活動の「いろは」というものを紹介しておきます。サロン・見守り・生活支援。いろいろな取り組みがあるが、この3つが基礎的な取り組みになってくるかと思えます。一番身近な地域でやりやすい活動は、お茶飲み会。サロン活動がとっつきやすく普及しやすい。ただ、サロンというのは難点があって、参加者が固定化し、行く人は行くけど来ない人は全然来ないというのが問題。サロンに来る人は元気な人ばかりで心配な人は来な

い。では心配な人をほっといていいのか、その人をどうするのかということ。心配な人のところにちょっと顔出して様子をつかがってみようかと、それが見守り活動になってくる。ただし結構ハードルが高い。民生委員さんだけががんばって見守りをやっても限界があるし、まわりきれない。しかも守秘義務あるから誰にも言えないで、民生委員さんだけでご苦労されている。それを地域ぐるみでやっていこうという活動に変わったら民生委員さんが一番喜ばれる。そして、みんなが支えあっていくと信頼関係が生まれ本音が出てくる。その本音を聞かせてもらう中でいろいろな困りごとも見えてくる。その困りごとに対して、そんなことに困っているんだしたら、私らでできることならやっただけよということでも生活支援というのが自然に始まる。と考える。私が見てきた地域というのは、まずサロンが始まって、サロンに来てない人が気になって見守りが始まり、見守りを通して気づいたことに対して自分たちができることをやる、生活支援が始まる、というふうに変わっていく。つまり住民の活動が発展していく。それをA地区B地区2つの地区でなべてみました。みなさんのお住いの町内会自治会はどつでしようか、考えてみてください。

みなさんのお住いの町内会はどっち？どちらが暮らしやすい地域か話し合いましたよ

	A地区	B地区
 <b>サロン</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・隔月開催の<b>高齢者限定</b>サロンで、担い手だけががんばって、サロンに来ている人を楽しませることに一生懸命。<b>来ない人、来れない人がいる</b>のは知っているが、担い手も少なく、どうしていいかわからない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもや若者、子育て中の親、中高年男性など、<b>多様な世代の住民が気軽に寄れる場</b>がある。</li> <li>・<b>担い手も多様で</b>、おしゃべりカフェ、食事会、体操教室、世代間交流など、毎週何か楽しみがある常設型のサロンになっている。</li> </ul>
 <b>見守り</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・<b>民生委員ひとり</b>で、見守り活動をしているが十分とはいえず、困難なケースがあっても、行政もすぐに対応してくれないし、その後どうなったのか連絡もない。民生委員は守秘義務もあって、周囲に協力を頼めず、<b>一人で悩んでいる</b>。</li> <li>・住民は無関心だったり、気になる人がいても、<b>だれに相談すればいいかわからない</b>し、役員でもないのだから<b>立ち入ったことはできない</b>と思っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・見守り活動に、多くの<b>住民や地域の団体が参加</b>し、子どもから高齢者まで、気になる人を見守り、活動を通して<b>日頃から気にかけて合う関係</b>が生まれている。地域全体に見守りの意識が高まり、住民が<b>近隣の心配な人のことを、民生委員に相談</b>してくれるようになった。</li> <li>・気になる人のことは、見守りメンバーで共有し、自分たちでできることは<b>ないかを話し合う場がある</b>。難しい問題は包括や社協に連絡すると、駆けつけて<b>一緒に考えてくれる</b>。</li> </ul>
 <b>生活支援</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・<b>年1回</b>、敬老の日に、高齢者にお弁当を配っている程度。個別の生活支援までできていないし、どんな困りごとがあるのか、わからない。本人も<b>プライドや遠慮</b>があると言わない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・サロンや見守り活動を通して、<b>信頼関係</b>が生まれ、個別の<b>心配ごとや悩みを知る</b>ことができ、住民でできることを考えて活動を広げている。</li> <li>・住民だけで難しいことは、社協に相談すると、<b>ボランティアやNPOを紹介</b>してくれる。</li> </ul>

ともに生きていく、支えあっていく地域というのは、ひとつは住民のネットワークをしっかりと作るということ。心配な人を中心に向きながら保健所や見守りメンバーや自治会長、民生委員、福祉委員、そういう人たちのネットワークをしっかりと作って一人の人を支えていく。そのため話し合いの場をつくる。ただし、住民だけでは限界があるところをいかに専門職も一緒に支えていくか。むしろ専門職の方が来てくれて住民と一緒に支えていこうとする。そういう関係性を作っていくと同時に、

地域の課題を発見する力・支えようとする力が高まれば、専門職は縦割りではいられなくなる。専門職は基本的に、高齢者福祉・障害者福祉・児童福祉・生活困窮など、全部制度が縦割りで仕事をしているが、住民の発見する力が高まり、複合的な問題とか制度のはさまの問題まで住民が発見してくると、縦割りではいられなくなる。住民が発見した難しい問題に答えようとしたら、専門職も連携していかなければならなくなる。そうすると地域と専門職とが両輪でやっつけなければならなくなる。それができるようになってくると強い。

見守りの住民のネットワーク、専門職の縦割りをなくしたネットワーク、この2つが両輪で回る地域をつくる、つまり「B地区」になっていく大きな要因を考える中で、地域の課題解決力とは3つの力が必要。1つは合意形成力。住民が問題の共有や活動内容についてみんなで話し合う場があるということ。そして交流する力。もともと顔見知りでお互いが地域のことをよく知っている関係性があったら、見守りの活動ができる、知らない人を見守るのも見守られるのもむずかしい。知っているから気に掛ける。だから交流地域の行事やおまつり、実はそういったものが基礎的なこととして非常に重要です。そして課題の発見力。日ごろから気に掛け合う関係が地域にあってどこにつないだらいいのかがわかっている。これらをあわせもった地域の課題解決力・地域の福祉力をどう高めていくか。そういったことをぜひ地域共生社会を作っていくうえで重要だとご理解をいただければ。

## 大堰保育園



フライドポテトのお味は？  
「おいしい～(\*^^\*)」  
(いい笑顔♡)



水遊びの季節の到来です  
★まってきました～!!

### プール開き (6/25)

「魚のように泳ぎが上手になりますように」と祈願しました。水あそびが始まると子どもたちのキラキラまぶしい笑顔と笑い声に包まれました。これから夏のあそびをいっぱい楽しみたいと思います。



自分で採ったジャガイモの皮剥き★真剣な表情!!

## 笑顔キラキラ☆ 保育園 だより

## 本郷保育園



お願い届きますように...  
できたよ!!

### 保育参観

先日、つぼみ組(0歳児)、すみれ組(1歳児)保育参観がありました。

つぼみ組は親子でふれあい遊びを楽しみ、すみれ組は七夕飾りを作りました。

活動後には、親子で一緒に給食を食べ楽しみました。



楽しいな～  
ママ…だいすき～

じゃがいもでピザを作るぞ!!  
おいしくな～れ。



## 福祉協力員研修会の報告(5/22)



### 福祉協力員とは？

地域にはいろいろな方が住んでいて、その中には、困りごとや暮らしづらさを抱えている人もいます。地域の身近な相談窓口は民生委員さんですが、福祉協力員さんは、民生委員さんの補佐的な立場として区から選出され、ボランティアで地域の福祉活動を支えてもらっています。

各地域で行われている見守り活動では、買い物や散歩のときなどの日頃の生活の中で、“少しでも気にかける”“あいさつをする”、ちょっとした気遣いの見守りを無理のない範囲でお願いしています。

本年度は、123名の方が登録され、そのうち新規登録45名の方に、社会福祉協議会会長から委嘱状が交付されました。

### 研修会

「九州北部豪雨災害から見た、地域におけるつながりの重要性」

当時、災害発生後の朝倉市には災害ボランティアセンターが設置され、多くのボランティアさんが駆けつけ、支援を必要としている方のもとで活動されました。その調整や支援の際には、区長さんや民生委員さん、地域で活動しているボランティアさんからの情報や協力があって細かいことに気づくことができ、大変助かった。また、被災され、ボランティアの支援を依頼された方々も、日頃の関係のある人には「手伝って」と言いやすく、ニーズの把握につながったとのことでした。これは、ふだんの活動・関係があってこそできたことというものでした。

災害時だけではなく、日頃の関係の中でも「助けて」や「困った」が言える環境や関係づくりが大切との話がありました。

### ●大刀洗町老人クラブ連合会主催健康講演会●

## 「隠居文化と戦え」

社会から離れず、楽をせず、健康寿命を延ばし、最後まで生き抜く

明日への活力が湧いてくる、楽しい講演会です。たくさんの皆様のご来場をお待ちしています。

【日時】7月26日(金) 午前10時～正午

【会場】大刀洗町ドリームセンター2階 展示ホール

【講師】元福岡教育大学教授

月刊生涯学習通信「風の便り」編集長  
三浦 清一郎 氏

【対象】どなたでも(申込不要・参加費無料)  
お楽しみ抽選会あり



### 気軽に集える居場所

## イデショッピングセンターで 茶話会しませんか？



井手商店さんが、「地域のみなさんが気軽におしゃべりする場として、使ってもらいたい。」との思いで、イデショッピングセンター内の休憩スペースを開放されています。どなたでも、自由に利用できますので、気軽に寄ってみませんか？

【場所】  
イデショッピング  
センター内  
(上高橋1430-1)



【時間】火曜日～日曜日 10時～17時

食べ物、飲み物、趣味の道具など持ち込み自由

【お問合せ】井手商店 77-0250

社会福祉協議会 77-4877

### ●大刀洗町ボランティアセンター主催● ボランティア入門講座演会

## 出会いは宝！自分を豊かにする ボランティア

人と出会う・地域とつながる・心イキイキ

ボランティア活動や地域活動には、人との出会いや必要とされる喜び・充実感など、その人を豊かにする力があります。ボランティアに関心のある方、これからやってみたい方、お気軽にご参加ください。

【日時】9月7日(土)午前10時～11時30分

【会場】大刀洗町ドリームセンター2階  
展示ホール

【講師】NPO法人 ミディエイド  
理事 濱中 美紀 氏

【対象】どなたでも(申込不要・参加費無料)



### 配食ボランティア

## 『青い鳥のお弁当』利用者募集



高齢者世帯・障がい者世帯の方で食事に困りごとのある方を対象に、ボランティアが見守りかねてお届けしています。

【配食日】大堰・本郷・菊池校区 第1・3金曜日 夕食  
大刀洗校区 第2・4火曜日 夕食

【対象】高齢者世帯・障がい者世帯等で、食事に何らかの困りごとのある方

【費用】材料費として300円/1食

【その他】申請が必要です(社会福祉協議会まで)